



ふなはし

# 議会だより

No.34 / 6月議会号  
令和3年8月1日発行



## 元気いっぱい! 舟橋村のこども達

舟橋子どもかがやき教室



### 目次

新議会の構成（委員会、関連議会等）… ②

一般質問 …… ③～⑥

議案の説明 …… ⑦

常任委員会 …… ⑧～⑨

傍聴案内・あとがき …… ⑩

# 令和3年度 議会組織・新体制

## ご挨拶

議長 杉田 雅史

このたび舟橋村議会議長の職に就くこととなりましたことは、身に余る光栄であり、心からお礼を申し上げます。これまで森前議長が行ってこられた「開かれた議会」に向けた行動につきましてはは継続をし、そのためにも村民の方々の意見をよく聞き、そして車の両輪といわれる行政と連携を図りながら、すべての住民の方々が、元気で希望の持てる住みよい村づくりに向けて尽力して参る所存でございます。これからも村民の皆様方のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

## ご挨拶

副議長 古川 元規

若輩ながら副議長に就任させていただき、その責任の重さを感じています。村議会の中では若手でありませぬので、経験においては十分とは言えないかもしれませぬが、常に若手なりの既成概念に囚われない斬新な視点で物事を見て、委縮することなく発言や提案をしていきたいと思ひます。謹厳実直の精神をもって議長を支え、円滑な議会の運営に努めるとともに、今後とも舟橋村の持続的な発展のために尽力したいと思ひます。

## 議会 (議長、副議長)

### 議会運営委員会

委員長 森 弘秋  
副委員長 良峯喜久男  
委員 古川 元規

## 常任委員会

本会議の審議に先だつて、条例案などの議案の内容等詳しく専門的に検討する審査機関(予備的審査機関)であり、2つの常任委員会が設けられています。

### 産業厚生常任委員会

委員長 竹島 貴行  
副委員長 杉田 雅史  
委員 加藤智恵子  
委員 良峯喜久男

生活環境課が所管する以下の事務について審査を行います。

福祉、農業、土木、国民健康保険、簡易水道など

### 総務教育常任委員会

委員長 前原 英石  
副委員長 杉田 雅史  
委員 森 弘秋  
委員 古川 元規

総務課、教育委員会が所管する以下の事務について審査を行います。

財政、税務、防災、学校教育、社会教育など

## 特別委員会

特別な事案や村議会が特に必要と認める場合には、特別委員会を設けて審査や調査を行います。本議会では2つの特別委員会が設けられています。

### 地方創生特別委員会

委員長 前原 英石  
副委員長 加藤智恵子  
委員 古川 元規

村の地方創生事業に係る内容について調査や審査を行います。

### 議会広報特別委員会

委員長 森 弘秋  
副委員長 古川 元規  
委員 加藤智恵子  
委員 良峯喜久男

住民の皆さんと議会を近づける手段として、議会の情報発信ツール「議会だより」を作成します。

## 事務組合議会

### 富山地区広域圏事務組合議会

杉田 雅史

### 中新川広域行政事務組合議会

前原 英石  
加藤智恵子  
良峯喜久男

### 富山県東部消防組合議会

竹島 貴行  
杉田 雅史

## 監査委員

議会選出委員 竹島 貴行

## 議会事務局

局長 松本 良樹  
係長 喜田 義樹

# 一 般 質 問

令和3年6月定例会

竹島 貴行 議員



**Q** 64歳以下のワクチン接種予約では混乱を回避するため対応はあるか。

**A** 書面による郵送やインターネットによる予約を検討している。

**Q** 村長の掲げた公約をどの様に実現する考えかを問う。

**A** きめ細やかなサービス提供や丁寧な説明に努める。

**Q** GIGAスクール構想の実践状況と現場支援について問う。

**A** 子供たちの個性に合わせた学びを指して対処する。



**質問** 4月19日から始まった新型コロナウイルススワクチン接種予約に受付センターへの電話が殺到し混乱が続いた。村の仕事は住民の予約をセンターに結び付けることであり、次に始まる64歳以下の予約は混乱を回避する必要があるが、対応について問う。

**答え** 今回の反省を踏まえ、基礎疾患をお持ちの方や60歳から64歳までの方は、書面での郵送の申し込みを検討している。一般の方の接種についてはインターネットでの予約を考えている。

**質問** 村長が選挙前、リーフレットやチラシを通して村民に語られた事や公約として挙げられた事を改めて確認させていただいた上で今後の公約実現について見解を問う。

**答え** 医療・福祉分野においては村が無医村であることの対応が重要であり、今年度ニーズ調査を行った。高齢者に係る分野においては、関係機関と連携しながら、生きがい創出の強化を図り、安心して暮らせる地域づくりを進めていく。

**質問** 文部科学省が推奨したGIGAスクール構想推進のため、村ではハード面の環境整備を終えているが、ICTを活用した教育実践の状況と現在のICT活用で抱える問題点における支援方法について問う。

**答え** 児童生徒の一斉学習では、大型モニターを使用し、より分かりやすい学習ができている。個別学習においては、タブレット型パソコンを使用し、個々の進捗状況を把握し指導ができるよう対応している。問題点として、活用のための研修時間不足、機器の設置場所不足があり、今後も改善の努力をする。

**Q** 教職員の負担軽減への取組について問う。

**A** 人的・物的な支援を通してさらなる負担軽減に取り組む。

**Q** 消防団員成り手不足について問う。

**A** 安定した団運営を継続する。

**Q** 冬の除雪方法を今から検討せよ。

**A** 地区住民や関係機関と連携する。

**質問** 教職員の過剰な残業問題が取りざたされ、教員成り手不足につながり危惧されているが、村の教職員の過重労働実態はどうか。また教職員の負担軽減に、どのような取組みが為されているか問う。

**答え** 前年度は例年と状況が異なるが、勤務時間の上限を超過した月が小学校で4回、中学校で6回あった。負担改善を図る取組みとしてGIGAスクールサポーター補充等の人的支援やICT機器の配備等、物的支援を行っている。

**質問** 少子超高齢化時代の中、消防団員の成り手不足が深刻な問題になっている。団員不足における対処方法について見解を問う。

**答え** 団員数は減少傾向にあり、令和3年4月1日現在で定数35名に対し30名となっている。本年3月に舟橋村消防団のPRチラシを作成し全戸配布した。今後消防団員及び消防団事務局が協同し、消防団に対する理解と新規入団の協力を求めていく。

**質問** 排雪場所の確保が難しい所での除雪と敷地出入口にできる雪の壁の解消をどうするか、今から検討し住民ニーズに沿った対策を準備していくべき。真摯に住民ニーズに耳を傾けた対策を講ずる必要があるが、見解を問う。

**答え** 効率的な除雪方法について対応を検討している。村の除雪機械の貸与事業をさらに活用していただくなど、官民一体となった作業が行えるよう協力を求めたい。

杉田雅史 議員



**Q** 当村におけるハラ  
スメントに対する  
防止対策の徹底を  
求める。

**A** 研修等をとおして  
ハラスメントのな  
い職場づくりに取  
り組む。

**Q** 当村における空き  
家対策について問  
う。

**A** 転入促進やより良  
い条件で住み替え  
できるよう進める。



**質問** 3月議会においてハラスメント防止に向け  
た方針策定及びハラスメント防止対策委員会を設  
置してハラスメント防止及び排除の措置を講ずる  
との答弁であったが、方針策定後や委員会設置後  
に職員からの相談はなかったのか。また、全職員  
に対する研修等は確実に実施されたのか。職員が  
安心して仕事をする環境を整えるためにも、これ  
までの事実をしっかり調査し、再発防止のために  
行動しなければならぬと思うが、当局の考え及  
びこれまでの調査内容について問う。

**答え** 3月中に「舟橋村職員のハラスメントの防  
止に関する方針」、「舟橋村職員ハラスメント防止  
対策委員会設置要綱」を策定して職員に周知徹底  
した。また、外部講師を招きハラスメント防止研  
修も実施した。今のところ報告すべきことはない  
が、相談があった場合には適切に対応して参りたい。

**質問** 空き家状況の把握や所有者に対するアン  
ケート等の実施も全件行われていないことから、  
実際のニーズ把握が行われないにもかかわらず、  
金融機関や財務事務所等と協議を進めているので  
はないか。

最近5年間の空き家状況や対策、関係機関との  
協議の現状について問う。

**答え** 調査は令和2年7月30日に行っており、そ  
の時点で空き家として村で把握している件数は15  
件であった。空き家所有者に対するアンケートは  
できるだけ早い段階で再度実施し所有者の意向を  
把握したい。まずは状況把握に努めた上で、関係  
機関と連携を図りたい。

加藤智恵子 議員



**Q** 新型コロナウイルス  
感染症予防接種  
予約について問う。

**A** 書面による郵送や  
インターネットに  
よる予約を検討し  
ている。

**Q** コロナ禍における  
生活困窮者対策、  
子どもの貧困への  
支援について問う。

**A** 子育て世帯への5  
万円の支給など、  
引き続き村独自の  
支援を行っていく。

**質問** 65歳以上のワクチン接種予約は初めての事  
で予期しなかったことが多々発生した。例えばい  
つも話中で電話が繋がらない、体が不自由で電  
話できないなど村民に少なからず不安や混乱が生  
じた。今後希望する全村民がスムーズにワクチン  
接種を受けられるように、現時点での問題点や課  
題とその具体的な解決策を問う。

**答え** 上市町と共同で設置したコールセンターは  
専用電話が少なく、予約のニーズに応えることが  
できなかった。今後、高齢者に対しては書面によ  
る郵送、一般の方にはインターネットによる予約  
を検討している。

**質問** 生活福祉資金貸付事業への相談が去年3月  
から今年5月までに68件うち貸付14件。

幅広い年代層が雇止め、解雇、休業などで失業  
し中には子育て中の若い方もあり親の貧困が子ど  
もの将来に悪い影響を与えかねない状況下である。  
生活費の困窮、子どもの貧困などに対する村当局  
の支援対策や奨学金制度の見直し・拡充等につい  
て問う。

**答え** 村のコロナ対策として、国の特別定額給付  
金の対象とならない令和2年度生まれの新生児に  
対しても10万円を支給した。新たに非課税世帯と  
なった子育て世帯についても5万円を支給する予  
定である。生活困窮者への支援については、今後  
も関係機関との情報共有に努め、支援していく。

次ページに続く

前原英石 議員



Q 「ふなはしテトラ」の本年度計画と進捗状況を問う。

A 「ふなはしテトラ」の目的や必要性の理解に向け、各種団体と連携を進めている。

質問 コロナ禍で延期となっている「ふなはし村民大会」をはじめ、関連行事を開催する予定である

と聞いているが、このコロナ禍の中で、事業計画の策定や事業の開催にも苦慮しておられると考察する。現時点でテトラ単独だけではなく連携事業についての本年度計画及び進捗状況を問う。

答え 本年度は、まず「ふなはしテトラ」の目的や連絡・調整機能の必要性を理解いただきたい。現在は村内各種団体と様々な事業について連携を進めているところである。「ふなはし村民大会」については村文化祭を開催する11月3日午前中に開催予定であるが、青少年育成舟橋村民会議と改めて協議し、村内に周知したい。

Q 第2期地方創生事業の今後の見通しについて問う。

A 子育て世帯以外の方々も参加したくなる事業を展開していきたい。

質問 本年度の地方創生事業の計画と、これまでの取り組み、今後の見通し、そして今後目指すところを問う。

答え 本年度事業として、まず「月イチ園むすび」については高齢者や子育て世帯以外の方々にも気軽に参加いただけるよう拡充する。次に、子育てママのプチ起業支援としてマルシェを月イチで開催する。村の農業者支援と地産地消の促進を図るため本年11月には園むすび事業とタイアップして収穫祭を実施する。村内各種団体との連携については「ふなはしテトラ」と連携してイベントを開催したいと考えている。



前ページから続く

Q コロナ禍における妊産婦の支援について問う。

A 助産師との相談室を役場内に開設。

質問 長引くコロナ禍による外出の自粛などを背景に全国的に産後うつや特定妊婦が増加傾向にある。核家族での子育て世帯が多い本村においても妊産婦へのきめ細やかな対応が重要である。今年から「子育て世代包括支援センターの運用」が開始されより良い母子管理が期待される。そこで同センターの活動方針や取組内容を問う。

答え 助産師による妊娠8ヶ月面談を行う場所として、プライバシー保護や子供用プレイルームを完備した相談室を役場3階に開設した。また外出を自粛している妊産婦についてはアプリを活用した情報提供、さくらんぼくらぶのインスタグラムを紹介する等、ひとりひとりに合わせた対応を実施していく。



Q 施設の建設・誘致・造成と農業振興とのバランスをどのように取っていくか問う。

A 関係者との連絡を密に、農業経営に支障がないよう配慮する。

質問 村の基幹産業である農業の大切さも十分理解した上で、今後施設建設・施設誘致・造成などが提案された場合、どの様に対応していく予定なのか、現時点での考えを問う。

答え 地元住民の要望と村の方向性が一致した場合、事業を推進することになるが、農地転用は避けて通れない状況である。村内において大規模開発の計画が提案された際には、若い農家が農業への意欲を失わないよう、関係者との連絡を密にし、農業経営に支障のないよう配慮して進める。

古川元規 議員



**Q** 空き家を活用した企業誘致および起業家支援の提案

**A** 所有者に対して継続した相談を実施。

**Q** 議会動画配信の在り方について問う。

**A** 他県での動向や有効性について検討する。



**質問** 小さな面積しかない舟橋村に適した、空き家を活用した企業誘致および起業家支援を提案する。自然環境や景観を損ねることなく、雇用や税収の増や、村の活性化にもつながるとともに、コロナ禍で東京への一極集中の是正が問われている中、村としても積極的に空き家を活用した誘致を検討すべきと考えるが、当局の考えを問う。

**答え** 空き家所有者に対して実施した意向調査では、所有者のほとんどは売却を検討していないため企業誘致や起業支援につながるものは難しいと考える。面積が日本一小さい自治体である舟橋村の定住対策として、空き家の活用は今後不可欠であるので、再度意向調査を実施し、所有者に対して継続した相談を実施していきたい。

**質問** 現在、議会ネット中継および動画配信がされているが、実際にどれだけの閲覧がされ、その維持にどれだけの費用がかかっているのか？もっと閲覧してもらうには、YouTube等の動画配信サービスを活用したほうがより効果的であるとともに、費用的にも安価になると思われるが、今後の議会動画配信の在り方について、当局の考えを問う。

**答え** 現在使用しているインターネット議会配信システムによる閲覧数は月平均約150回。維持費は運用保守業務委託料として年額132万円、回線使用料として年額5万7千円。セキュリティ保護等の観点からも現在の運用を継続したいが、動画配信サービスを活用する自治体が全国的に増えていることもあり、他県での動向や、その有効性について検討する。

良峯喜久男 議員



**Q** 第5次総合計画から「推進チーム」について問う。

**A** 新たに発足した「総合戦略プロジェクトチーム」のメンバー5人が中心となり、組織づくりを行う。

**質問** 基本構想の中で、舟橋村の目指す将来像の実現に向けて実施すべき3つのテーマを、重点プロジェクトとして、実現し具現化・推進するために、本村の人々に広く参加して貰い「推進チーム」をつくとあるが、こういった組織体なのか。

**答え** 多くの村の方々の参加と、次の世代の運営を担う若手職員が積極的に参加し、予算提案も含めた新規事業の立案・実行力が必要になる。具体的には検討中であるが、本年度より新たに発足した「総合戦略プロジェクトチーム」のメンバー5人が中心となり、組織づくりを行いたいと考えている。



第5次舟橋村総合計画

## 6月定例会に提出された議案は以下のとおりです。



議案	内容説明
①⑨	マイナンバーカードを使用して、令和3年7月から住民票及び印鑑登録証明書が全国のコンビニで取得できるようになりました。これに伴い舟橋村印鑑条例が一部改正されました。
②⑩	個人番号通知カード制度の廃止に伴い <b>通知カード再交付手数料の規定を削除</b> するため、舟橋村手数料条例が一部改正されました。
③⑪	令和3年度税制改正の影響で実質所得が10万円増になったことによって、今まで受けられていた <b>重度心身障害者等医療費助成</b> が受けられなくなる可能性がありましたが、今までと同様の助成を受けられるようにするために、助成の基準となる所得を-10万円するために <b>条例が改正</b> されました。
④⑫専決第4号	令和2年度一般会計において、新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用543万6千円など緊急性を要するものや、事業完了に伴う事業費を精査した結果、予算補正を行い、専決処分されました。補正金額：542万6千円の減額となり、令和2年度一般会計の総額は25億105万1千円となりました。
⑤⑬専決第5号	令和2年度国民健康保険事業特別会計において事業精査した結果、予算補正を行い、専決処分されました。補正金額：3,878万円の減額となり、令和2年度国民健康保険事業特別会計の総額は1億4,338万6千円となりました。
⑥⑭専決第6号	令和2年度後期高齢者医療事業特別会計において事業精査した結果、予算補正を行い、専決処分されました。補正金額：6万5千円の減額となり、令和2年度後期高齢者医療事業特別会計の総額は7,383万9千円となりました。
⑦⑮専決第7号	村税条例の一部改正が専決処分されました。これは地方税法等の一部改正により村税条例を改正したもので、①土地に係る固定資産税については令和3年度に限り、 <b>地価上昇により税額が上昇する場合は令和2年度と同額とする対応</b> 、②軽自動車税における環境性能割の税率区分の見直しを行う等の改正です。
⑧⑯専決第8号	固定資産評価審査委員会条例の一部改正が専決処分されました。これは税務関係書類に関する押印廃止に伴い、署名押印に関する記述が削除されたものです。
⑨⑰	令和3年度一般会計補正予算（第1号）……補正増額3,871万6千円 ふなはしこども園北側に駐車場を整備する事業費として530万円、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）事業費として365万円、こどもきち外壁及び屋上防水改修事業費として1,514万6千円、医療機関が実施した新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用として961万9千円等の予算が計上されました。令和3年度一般会計予算の総額は18億2,279万8千円となりました。
⑩⑱	令和3年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）……補正増額169万8千円 令和2年度の事業費精査に伴い納付額が確定した <b>地方消費税</b> 169万8千円を予算増額しました。
⑪⑲	市町村税滞納整理事務が廃止されることとともなって、富山県市町村総合事務組合規約が <b>変更</b> されました。
報告①	令和2年度舟橋村繰越明許費繰越計算書について、一般会計で事業件数15件、事業費1億1,858万8千円を明許繰越したことの報告を受けました。
追加①	杉田雅史氏が副議長を辞職されました。
追加②	古川元規氏が副議長に当選しました。
追加③	森弘秋氏が議長を辞職されました。
追加④	杉田雅史氏が議長に当選しました。
追加⑤	各常任委員会の委員が選任されました。
追加⑥	議会運営委員会の委員が選任されました。
追加⑦	議会広報特別委員会の委員が選任されました。
追加⑧	地方創生特別委員会の委員が選任されました。
追加⑨	富山地区広域圏事務組合議会議員が選任されました。
追加⑩	中新川広域行政事務組合議会議員が選任されました。
追加⑪	富山県東部消防組合議会議員が選任されました。
追加⑫ 議案⑳	議会選出の舟橋村監査委員選任の件について、杉田雅史委員の辞職に伴って竹島貴行氏の選任を議会として同意しました。

# づくりに向けて提言 Q&A



## 総務教育常任委員会

### コミュニティ振興交付金の減額要因は？

**問** 令和2年度一般会計補正予算におけるコミュニティ振興交付金68万4千円減額の要因は。(森、良峯)

**答** 新型コロナウイルス感染症の影響で自治会が行うイベント等が例年に比べて少なかったため、地域活性化事業に対する交付金が少額であった。そのため不用となった予算について減額したものである。

### モデルエリアマネジメントにコロナの影響は？

**問** 令和2年度一般会計補正予算におけるモデルエリアマネジメント協議会自立自走支援委託料47万5千円減額の要因は、コロナ禍で事業が縮小したことによるものなのか。前年度には他にも「ICTアプリ活用によるリーダー育成並びに共創創出事業」があったが、コロナ禍においても実施できたのか。(杉田)

**答** 予算額に対して契約額が下がったことによる請負差金によるもの。エリアマネジメント勉強会は民間企業が舟橋村の中でCSVをどのように実施していくのかについて学ぶ場であるので基本的にコロナの影響は受けていない。「ICTアプリ活用によるリーダー育成並びに共創創出事業」に関しては、計画どおり推進することができた。

### 自主防災組織の強化について

**問** 令和2年度一般会計補正予算における自主防災組織資機材交付金30万円減額の要因は何か。各自治会の自主防災組織育成は重要であり、資機材を整備する予算が不要とならないように当局として各地区に啓発する必要がある。事業の認

知度を高めるためにも村としての対策が必要と考えるがいかがか。(杉田)

**答** 舟橋村は災害の事例が少ないため防災意識が低いことに原因がある。積極的に活動している地区とそうでない地区との差が大きい。自主防災組織の重要性を理解していただくとともに自主防災組織資機材交付金についても周知していきたい。

### 安全運転装置等補助金のさらなる活用周知を求む

**問** 令和2年度一般会計補正予算における安全運転装置等補助金30万円減額の要因について、昨年度の利用実績はどうだったのか。今後は事業のPRをもっと活用してもらい、うべきと考えるが、新たな周知方法等についてどのように考えるか。(杉田)

**答** 昨年度の実績は6件。最近の新車は踏み間違い防止装置が既に整備されている場合が多いので、この6件は全てドライブレコーダーに係るもの。今後広報紙やチラシで周知するだけでなく、対象者が高齢者であることから老人クラブさんにもご協力いただいで周知していきたい。

### 証明書等のコンビニ交付サービスとは？

**問** 令和3年度一般会計補正予算における小規模市町村向けコンビニ交付サービスについて説明を求める。(良峯)

**答** サービスを運用するため保守委託料が必要となる。利用にはマイナンバーカードが必要であるが、マイナンバーカードの所有者は5月末現在で1,042名。舟橋村住民の32.3%となっている。村内で商品券として利用できるポイントを活用してカード取得を促進するという点については現時点では考えていない。



**地域優良賃貸住宅修繕基金にイベント費は含まれる？**

問 地域優良賃貸住宅修繕基金として65千円計上されているが、以前の説明では家賃の中にイベント費が含まれており、使用されなかった場合は修繕基金に積み立てると説明されていたが、イベント代として集められた分はこの中に含まれているのか？

答 家賃収入から管理委託や自治会負担金、イベント運営助成金等を差し引いた金額の総額が修繕基金となるので、イベント代が無かった場合は、ここに積み立てられる。

**木造住宅耐震改修支援事業費補助金は見直しては？**

問 木造住宅耐震改修支援事業費補助金88万4千円の減額について。この事業に対する申請は無かったのか。事業内容について精査し、効果が出ていないのであれば事業内容を見直すことも必要ではないか。(前原)

答 ここ数年の実績は0。周知が十分ではない部分もあるが、この事業は国庫補助事業であるので、村で事業内容を見直すことはできない。

**舟橋駅前歩道の危険な側溝に対策せよ**

問 舟橋駅前歩道整備事業は、令和2年9月補正で予算化され完成をみたが、東側取り付け部分に至っては、取り付け部分の1/2が開渠の側溝となっており非常に危険である。(森)歩道の形状から考えて蓋はしないが、事故防止のための安全対策施設を設置する。

**高齢者運転免許自主返納者生活支援事業補助金の実績を問う**

問 令和2年度一般会計補正予算における高齢者運転免許自主返納者生活支援事業補助金については2,384千円の予算に対して300千円の減額補正であるが、実績について問う。(森)

答 令和2年度実績で46名、1,992千円である。

**「事業精査による減額」が目立つが適切か？**

問 説明資料について「事業精査による減額」という表現が多いが、なぜそのような事業精査が必要となったのか。今回の「事業精査による減額」が多かったのはコロナによる影響と理解してよいか。また、「事業精査による減額」はこの時期にまとめて専決処分すべきものだったのか。(古川)

答 前年度末の専決による補正は当該年度の収入と支出の乖離を埋めるもので、特定の補正要因のあるものではないため「事業精査」という表現になる。コロナによる影響が補正要因となったものは、イベント等の事業費予算であるので、限定的である。

**コロナ陽性反応者の同居者の扱いについて問う**

問 新型コロナウイルス感染症における村の対応について以下のとおり問う。

①保護者が陽性となり隔離などが必要となり、子供が陰性だった場合、他に預け先がない子供にはどのような対応ができるのか。

②同じく認知症などがある高齢者世帯で、一方が感染し入院などした場合、生活介助などの支援についてどの様な対応が考えられるのか。(加藤)

答 ①近くに親戚等あればそちらに預ける。難しいようであれば親が入院している病院と一緒に入院させる等に対応いただく、あるいは子供を預かってくれる友人や知人を探していただく等で対応いただきたい。

**いも園の駐車場整備について問う**

問 村有地整備事業について以下のとおり問う。

①新たな避難場所はあるか？公園のどこの場所を代用としてする形か？

②隣に農地がある。現在は畑のため問題ないと思うが、水田となり農薬散布をする際には畑側を歩くことは容易ではなく、フェンス越しに散布ホースを伸ばす必要があった。歩くスペースやフェンスの高さなど、農作業に支障のないような設計をお願いしたい。

③西側の用水は過去には少しゴミなどが詰まると溢れることも少なくなかった。そのような事態も考慮に入れた設計をお願いしたい。

答 ④雨水対策はどのように考えているか？(古川)  
①新たな避難場所は考えていない。児童公園等に避難していただきたい。

②今のところ舗装のみと考えている。  
③現在の設計において水路改修は考慮していない。②と同様に請負差金が発生した場合に検討する。  
④南側に向けて勾配をつけることで対応する。



## 自治功労者表彰

市町村会館で全国町村議会議長会表彰伝達式が行われ、長年の議員活動を称え、森弘秋議員が全国町村議会議長会から自治功労者表彰を授賞しました。



## 優良町村議会表彰

舟橋村議会の議会運営が他の模範とするに相応しいと認められ、全国町村議会議長会から優良町村議会表彰を授賞しました。



**議会に行ってみない?**  
**うん!一緒に行きましょうよ!!**

ふなはしむら子

おはよう、むら子さん☺  
今日から村議会が始まるんだけど一緒に傍聴に行ってみない? 時間は10時からなんだって。

おはよう、そうなんだ♪  
議会って私も前から気になってんだよね。ぜひぜひ～☺  
場所はどこで('ω')

役場の3階なんだって。  
今日は「一般質問」といって村政について議員さんたちが村長さんたちに質問する日だそうよ(^)

どんな質問があるのか楽しみね☺  
それじゃあ一緒に行きましょう('ω')♪

～議会だよりモニターを募集しています～ ご連絡は、議会事務局 TEL 464-1121へ!

### あとがき

私は、2回目の広報委員となる。1回目は平成25年第一号の発行に携わった時。当時議会は何をしているかの声が大きく議長と相談。広報を出そう。以来34号となる。当時村民から議会だよりを見た。議会活動はこうあるべきだと喜ばれ、町村議会議長会から「舟橋さん、ようやく出ましたね。議会だよりが!」議会広報も進化し、昨年は全国町村議会議長会から奨励賞を頂いた。これからも、ますます内容を精査し爽りあるものにしていかねばならないと考えるところである。幸い、広報委員の方は、ベテラン編集者の集団だ。少しでも議会活動や想いが村民に伝わればよい。(森記)

### 議会広報特別委員会

- 委員長 森 弘秋
- 副委員長 古川 元規
- 委員 加藤智恵子
- 委員 良峯喜久男

議会・議会だよりについて、みなさまのご意見・ご感想をお寄せください。

